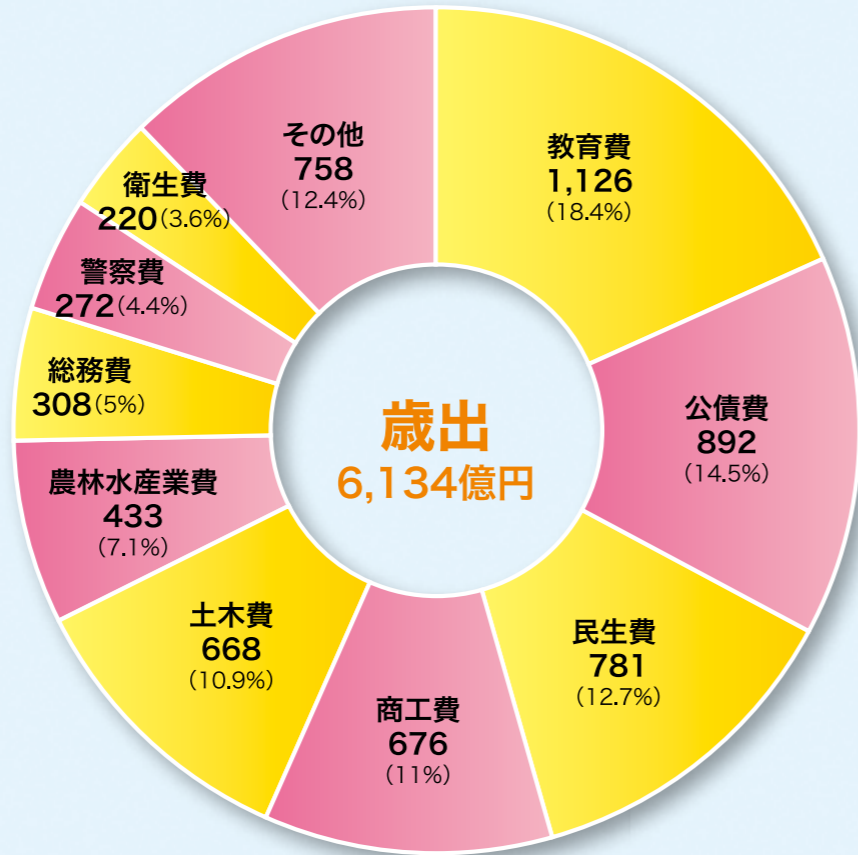
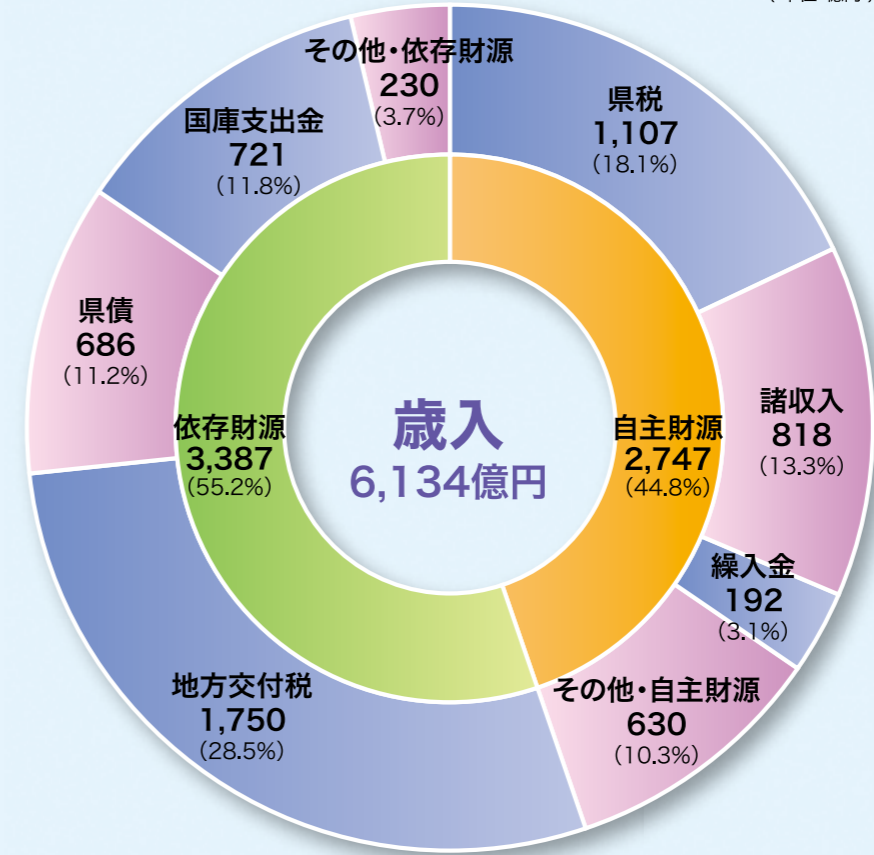


山形県の新時代を切り拓く！ 令和2年度当初予算の概要について

令和2年度は、「人と自然がいいきと調和し、真の豊かさや幸せを実感できる山形」の実現に向け、第4次山形県総合発展計画（以下、「新計画」）の5つの政策の柱に沿って、「県民が本県で暮らす幸せを感じ、また、本県を訪れる人も幸せを感じられる」ように、各種施策を力強く進めるための予算編成と部局改編を行いました。

令和2年度当初予算（一般会計）の概要

（単位：億円）



- 用語解説**
- ◎**地方交付税**…自治体間の財源の不均衡を調整するために、一定のルールで国から交付されるお金
 - ◎**県債**…災害対応や道路整備・学校を建てるなどの目的で県が借りるお金
 - ◎**国庫支出金**…農地の整備など、特定の事業に対して国から交付されるお金
 - ◎**自主財源**…県税など、県が自ら収入する財源
 - ◎**依存財源**…国から交付されたり、割り当てられたりする財源
- 【歳入】**
- ◎**公債費**…県債返済などに使うお金
 - ◎**民生費**…生活保護などの社会保障のためのお金
 - ◎**衛生費**…医療や健康増進、環境保全などのためのお金
- 【歳出】**

令和2年度の主要事業を新計画の5つの政策の柱に基づき、ご紹介します！

5つの政策の柱

1 次代を担い地域を支える人材の育成・確保

NEW 学校教育や生涯を通じた多様な学びの機会の充実により、地域社会や国内外で活躍する多様な人材を育成します。また、若者の志向に合った就業の受け皿づくりや本県ならではのライフスタイルの発信などにより、若者の県内定着・回帰や移住など、国内外の多様な人材の受入れ拡大に取り組んでいきます。

NEW 県内への移住を促進するため、移住世帯に対し、新たに賃貸住宅の家賃を最大2年間補助します。さらに、ひとり親家庭に対して全国初の取組みとして、引越してから住まい・食・就労まで一体的に支援します。

NEW 「はやぶさKIDS」の育成
500万円

本県の「ものづくり」に携わる人材の育成に向けて、小・中学生が身近な地域で「ものづくり」に親しむことができる「少年少女発明クラブ」の活動を支援します。

NEW 海外キャリア人材の育成を支援
東北初 200万円

本県での起業・就職を目指し、海外でのキャリアアップに取り組む若者や、海外で経験を積み本県で起業・就職した方に対して奨励金を支給します。

NEW 県内高校卒業生への情報提供
全国初 100万円

SNSの機能を効果的に活用し、県内高校の卒業生を対象に、出身地や進学先等の属性に応じたきめ細かな情報を配信します。



山形の将来を担う少年少女発明クラブの活動の様子

Pick Up!

【予算規模】
新時代「令和」初となった今年度当初予算は、総額6,134億円となりました。前年度当初予算から約3億円の増となり、2年連続で前年度を上回る予算となりました。

【歳入予算】
県税は、地方消費税の増収が見込まれる一方で、税制改正の影響などにより、1,107億円となり、前年度と比べて減額となる見込みです。一方で、地方交付税は1,750億円となり、前年度と比べて増額となる見込みです。

【県債残高の見込み】
今年度末の県債残高は1兆1830億円となり、前年度の同時期と比べて17億円減少する見込みです。

また、財政健全化の目標として掲げている臨時財政対策債と補正予算債等を除いた今年度末の実質的な県債残高は671.6億円となります。前年度の同時期と比べて41億円減少する見込みであり、「山形県行財政改革推進プラン」の目標である平成28年度末決算額673.0億円を下回る見込みです。

**着実な事業推進のため
本庁組織の部局改編を実施**

新計画に沿った施策を効果的に展開し、活力あふれる県づくりを進めるとともに、県民に分かりやすい組織づくりを行うため、次のとおり部局名の改称等の組織機構の改正を行いました。

- ◎企画振興部 ↓ 未来企画創造部
- ◎子育て推進部 ↓ 子育て若者応援部
- ◎商工労働部 ↓ 産業労働部